



ホテルや公民館なども入居する地上12階建ての商業施設を含む再開発地区の完成予想図

**福祉保健部 約一千四百二十一万円**

**発達障害者支援センター運営事業**

現在、県内には発達障害児者に関する支援体制が整備されておらず、その整備が早急に必要です。発達障害児者やその家族からの相談に対し適切な指導・助言などを行う機関として、発達障害者支援センターを設置します。

既存の社会福祉法人などに委託し、発達障害児者の相談、発達や就労を支援するほか、発達障害の特性や対処法などについて普及を図るなど発達障害児者に対する理解促進などにも取り組みます。

**農林水産部 約二千二百一十一万円**

**天敵利用技術確立実証事業**

現在、農産物の安全性に対する需要の高まりから化学農薬の使用を減らすことが生産現場に求められており、化学農薬に代わる手段として天敵など生物農薬の活用が有効であるとされています。しかし、使用にあたっては高度な技術を要するなどの理由から、生産現場で定着していないのが現状です。

〈農業試験場で開発された天敵〉



農薬名「アリガタ」(アリガタシマアザミウマ)



農薬名「ミドリヒメ」(ハモグリミドリヒメコバチ)

そこで、生産現場において天敵などを活用した害虫防除技術を確立し、減農薬

**土木建築部 五千七百七十万円**  
**牧志・安里地区第一種市街地再開発事業**

再開発地区は、北側を国際通りに面し、西側を沖繩都市モノレール牧志駅に隣接している二・三ハクタールの敷地です。那覇市中心街の東端に位置する好立地であるにもかかわらず、長年にわたり、河川の氾濫や密集家屋の問題が未解決のまま放置されてきました。河川改修により防災性を向上させ、駅前広場をはじめとする公共施設、住宅・商業施設などの一体的な整備を行うため、実施主体である再開発事業組合に対し、事業計画案および基本設計策定費として資金を補助します。

栽培による安全・安心な県産農産物の安定供給およびブランド化を目指します。そのため、農業試験場で開発された天敵などを生産現場における害虫防除に利用してデータを収集したり、問題点などについて検討を行い、天敵利用技術の確立とその普及を目指したマニュアルの作成に取り組みます。

**農林水産部 約一千五百四十四万円**

**おきなわ熱帯果樹ブランド確立事業**

本県の地域特性を活かした沖繩熱帯果樹のブランド化と生産供給体制の強化に取り組みます。

沖繩の主な果樹であるマンゴーのブランド強化に取り組み「マンゴーブランド確立事業」では、気象などに影響されない安定した着花・着果を可能とするための技術確立や、初期投資費用を安くして生産者の経営負担を和らげるため、通常マンゴー栽培に使用されるビニルハウスよりも費用の安い施設における栽培技術の確立に取り組みます。



「トロ」カルフルーツブランド確立事業では、海外から導入した熱帯果樹の品種の中から本県に適したものを選抜・育成し、マンゴーに次ぐ熱帯果樹の普及を目指します。

**農林水産部 六百十八万円**

**うちなー島ヤサイ振興対策事業**

産地間競争の激化や消費者ニーズの多様化に対応するため、健康食材として注目を集めている二ガナ、ウンチエー、ナー

**土木建築部 六千四百万円**  
**県道平和の道線(仮称)に係る環境影響評価事業**

現在、本島南部海岸一帯に数多く存在する戦跡・史跡などを結びアクセス道路が不備なため、観光バスやレンタカー等の円滑な移動に支障を来しています。そのため、平和の道線(仮称)としてこれら拠点を結び道路整備を計画しています。

しかし、計画地域が沖繩県環境影響評価条例の適用対象となっているため、整備事業に先立ち環境影響評価の手続きが必要となります。

本事業では今年度、環境影響評価準備書作成に必要な環境現況調査、環境影響予測および環境影響評価を実施します。

**教育委員会 約二百四十一万円**

**豊かな進路連携推進事業**

本県では、児童生徒が、将来、主体的に人生を生きるために必要な知識、能力や態度を育てる教育をキャリア教育と位置づけ、発達段階(小中高)に応じた組織的・系統的な教育を推進しています。

キャリア教育における「体験活動の推進」として小中高で各々行われている職場体験などについて、学校間で連携して系統的に取り組むため、課題について協議の場を設けたり、講演会を開催してお互いの理解を深めます。



ペーラーなどの伝統的野菜(島野菜)について、基盤となる生産・流通体制を構築し、島ヤサイの振興を図ります。

生産基盤対策としては、生産者を登録し遺伝資源を採種・保存するほか、栽培マニュアル作成に向けた栽培試験の実施、味や外観など消費者ニーズに対応した技術革新を行います。

また、流通・販売対策として、生産者のグループ化や多様な流通ルートの検討を行ったり、販売促進キャンペーンなどを実施し、一貫した産地モデルづくりを実施します。



ニガナ

ナーペーラー

**観光工商部 四千万円**

**中国観光客誘致重点地域開拓事業**

目覚ましい経済発展を続けている中国都市部からの観光客誘致を目的とし、上海事務所を拠点に、これまで以上に観光地沖繩の知名度を高める事業を展開します。

沖繩情報を発信するため中国マスコミ関係者を沖繩



久米島を訪問した中国からの観光団の皆さん

**教育委員会 約二百八十九万円**

**進学目標達成事業**

本県で推進しているキャリア教育における「進路指導の充実」として、県外の進学指導体制の先進校に教師を派遣し研修を行うほか、進学校間に話し合いの場を設けることで指導体制を強化します。また、生徒を対象とした合同の学習会を開催することにより進学意識を啓発します。

**教育委員会 約四千三百五十四万円**

**開館準備事業費**

県立博物館新館・美術館の平成十九年十一月の開館に向けて、開館記念展や記念式典開催のための準備費用、図録などの資料作成費用、ポスターやブレイベンなどの広報費用に充てられます。



那覇新都心地区に建設中の県立博物館新館・美術館の完成予想図

に招待したり、観光展覧会への参加、旅行社などとの商談会や観光キャンペーンなどの開催、ハネムーンツアー商品の定着を図ることで、沖繩の多様な魅力を発信していきます。また、メーデーや国慶節といった中国の休日に合わせてチャーター便就航の誘致も行います。

**観光工商部 七百二十五万円**

**知的財産戦略推進事業**

知的財産立国を目指して制定された知的財産基本法第六条に基づき、沖繩県知的財産戦略(仮称)を策定するため、本県における知的財産の現状と課題について調査を実施し、戦略を検討するための委員会を設置します。

本県が持つ豊富な地域資源と特産品を活かした産業振興を図るためには、特許や地域ブランドなどの知的財産を保護・活用し、高付加価値をつけることが必要です。戦略の策定により、知的財産の創造、保護、活用の知的創造サイクルを確立することで、県の試験研究機関や大学などにおける研究成果の活用推進が期待されます。

知的財産活用の成功例であるかりゆしウェアの商標登録



商標という知的財産の登録により、県内縫製業の活性化が図られています。

**土木建築部 企画部 観光工商部 約七千八百二十八万円**  
**石垣空港C-I-Q施設整備事業**

現在、石垣空港には独立したC-I-Q(税関・出入国・検疫)施設が無いためターミナルの一部を仕切ってC-I-Q審査を行っていますが、国内線の離発着によるターミナルの混雑時には、国際線チャーター便は発着時間帯が制限されています。

今後見込まれる国内線旅客数および台湾をはじめとする外国からの観光客数の増加に対応するため、既存のターミナル施設とは別に暫定的にC-I-Q施設を整備し、出入国手続きの利便性を高め、観光需要の拡大を図ります。平成十八年度内の完成を予定しています。

**福祉保健部 土木建築部 約五百三万円**

**バリアフリー推進事業**

高齢者や障害者をはじめ多くの人が利用する公共施設や住宅のバリアフリー化を促進するため、アドバイザー制度と表彰制度を柱としています。

アドバイザー制度では、今年度、建築士や理学・作業療法士などの専門家をアドバイザーとして想定しており、既存施設のバリアフリー化に関するアドバイスや設計者を対象とする研修などを実施するとともに、住宅のバリアフリー指針を策定する予定です。

事業者などの意識高揚を図る表彰制度では、次年度の実施に向けて制度の検討と要綱の作成などを行う予定です。